

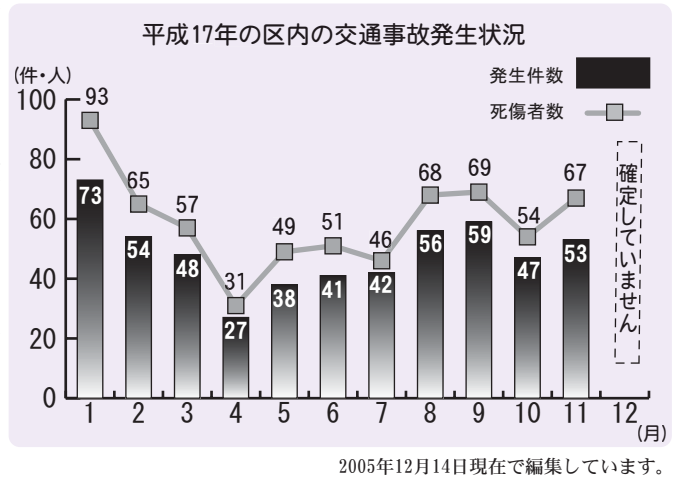
# 交通事故を **起こさない**、 そして **遭わない** ために

地域住民や関係機関によるスピードダウンやシートベルト着用の呼び掛けもあり、昨年(平成17年)1年間の市内で発生した交通事故による死者数は、27年ぶりに年間50人を下回ることが期待されています。

区内では昨年1月から11月までの間、538件の交通事故が起き、648人の方が負傷し、2人の尊い命が奪われています。私たちの周りで毎日事故が起き、それにより約2人の方が事故に遭っていることとなります(同年11月末現在)。

1月は新たな年のスタートであるとともに、冬特有の事故が起こりやすくなる時期です。

今月は、冬道で特に気を付けたい安全運転や安全通行のポイントをおさらいしてみましょう。



## ドライバーは・・・

- スピードを控え、十分な車間距離と早めのブレーキを心掛ける
- 急発進・急ハンドル・急ブレーキなど「急」のつく操作はしない
- カーブや下り坂に差し掛かる前にスピードを落とす(エンジンブレーキも活用)
- 交通量の多い箇所などでは先々の状況に注意し、前の車の減速・停止を早め早めに読み取る
- 交差点付近にはいつでも減速できる態勢で進入する
- 走行前に屋根に積もった雪や窓に付いた雪を落としておく
- 歩行者の脇を通過するときは、十分に間隔を開ける
- シートベルト(チャイルドシート)をしっかり着用して、心と時間にゆとりを持って運転する

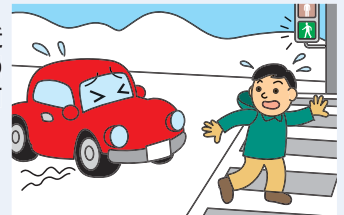
## 路上駐車はやめましょう!

雪で道幅が狭くなる冬は、1台の路上駐車が大きな迷惑となります。車両の通行や除排雪作業の大きな支障となるほか、歩行者や車の安全確認の妨げとなり、交通事故を引き起こす原因にもなります。

## 歩行者は・・・

◇青信号になっても、一呼吸おいてから横断する

止まりきれずに滑って近づく車があります。周りの車が停止したのを確かめてから横断しましょう。



◇足元ばかりを気にせず、車への注意も忘れないときどき顔を上げて、周りの様子を確認しましょう。

◇道路脇の雪山の陰から急に飛び出さない



雪山から顔を少し出して安全をよく確かめ、車が完全に途切れてから。



お子さんのいらっしゃるご家庭では・・・道路脇の雪山の上を歩いたり、滑り降りて遊んだりする危険性を教えてあげましょう。

## 夜光反射材のご利用を



清田区交通安全運動推進委員会では、夜間の歩行者事故防止のため、夜光反射材の利用を呼び掛けています。シールタイプや簡単に取り外しができるリストバンドタイプ(写真右)もあります。ご希望の方は区役所2階の同委員会までお越しください(数に限りがあります)。